

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
起業演習 Entrepreneurial Practice		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		選択	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
起業論、経営学Ⅰ・Ⅱ、経済学、起業家教育Ⅰ・Ⅱ、ビジネス実務総論Ⅰ・Ⅱ、簿記Ⅰ・Ⅱ、行政法				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
経営学Ⅰ、経済学、起業家教育Ⅰ、簿記Ⅰ、ビジネス実務総論Ⅰ				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
國分三郎		本館2F	木曜日 13:00～14:00	授業中に指示します
授業の概要				
起業を人生におけるキャリア形成の一つとして考え、実践的立場から起業(創業)に必要な基礎的知識を学習する。先ず、起業を決意する前の確認事項を概観した後に、設立準備としての資金調達、マーケティング、法的手続きについて取り上げる。				
授業の到達目標				
①自分のキャリア形成の一つとして起業を考えることができるようにする。 ②起業の具体的手続きを理解することができるようにする。 ③起業家の精神や行動を理解することができるようにする。				
授業の方法				
演習				
学習の成果				
①起業の喜びや楽しさを知り起業を自分の職業選択の一つにすることができる。 ②起業をする際の基本的な知識(起業のための法的手続きなど)を理解して説明することができる。 ③起業に必要な法的な手続を理解して説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	はじめに(シラバスの説明、講義の狙いと進め方、成績評価の説明、受講の態度の説明)			
第2回目	自分の適性とやりがいを考える、適性とは何か、やりがいとは何か、自己分析表			
第3回目	今なぜ起業をする人が多いのか(働きかたの多様化、自己実現の希求)			
第4回目	起業に向くタイプとは、自らの棚卸(仕事、趣味、人脈、資金、マインド、スキル)			
第5回目	起業までの課題・障害(諸手続き、資金調達、販路開拓)、ライフプラン(人生設計と事業計画)、円満退職と家族の理解			
第6回目	ビジネスアイデアの創出法Ⅰ(アイデア創出の条件、個人的視点から)			

第7回目	ビジネスアイデアの創出法Ⅱ(社会的視点からの創出法)	
第8回目	起業に必要な情報の収集(市場調査の立案、市場調査の実施、市場調査の結果分析)	
第9回目	様々な業界を知る(各種業界の市場規模、特徴、今後の展開)	
第10回目	起業に必要なマーケティング(マーケティングの基礎、4Cと4P、その他)、小テスト	
第11回目	人口の動向からみた今後の事業(ニーズの多様化、本物指向、市場の変化)	
第12回目	世帯の変化に対応した商品開発のポイント(人口の変化と世帯、データーで見る世帯の変化、商品開発1の視点)	
第13回目	起業の手続き(起業の準備、法的手続き、具体的事例)	
第14回目	わが国の創業(起業)支援策(公的支援、私的支援)	
第15回目	まとめとテスト(一連の講座を振り返り、授業の補足すべき内容の説明や受講者からの質問に答える)	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準(S)としては無遅刻無欠席で、授業に集中し講義への質問を積極的に行うこと。
レポート		
調査報告書		
小テスト	10%	最高水準(S)としては、基本的専門用語を90%正解すること。
中間・学期末試験	60%	最高水準(S)としては、課題の趣旨を理解して、必要な専門用語を駆使しながら論理的一貫性をもって論述すること。
発表内容(態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
教科書は使用しない。授業のたびに必要な資料を配布して、それをもとに授業する。		
履修上の心得・ルール		
演習科目であるため、受講態度(特に私語禁止)および出席状況を重視する。無断欠席は5点減点。遅刻2回で1回欠席とする。		